

# 明大前街づくりNEWS 第6号

## NEWSの概要

- 第4回協議会総会の報告
- 街づくり協議会の目的
- 会員募集のおしらせ

## 第4回協議会総会が開催されました。

平成20年11月29日の第4回協議会総会は、出席者47名 委任状34名の合計81名(総会員数122名の過半数以上)で開催されました。主な議事内容についてご報告いたします。

運営委員の任期は、平成21年3月まで延長することが承認されました。また、今後の進め方や地区街づくり計画の基本的方向(案)の説明後、次のような意見が会員からあり、継続的に運営委員会や部会で検討していくこととしました。

### 【主要意見】

- 計画案の図面を見ると、鉄道沿いの道路をイメージする東西の線の表現があり、いかがなものか？鉄道が地下になったら上部の市街地に影響が少なくなるはずで、そのようなことも踏まえて計画作りが必要だ。
- 鉄道整備のための用地取得が進み、京王が自由に使える土地が広がるように思えてならない、これは住民にとって問題だ。
- 構造形式にかかわる住民の意見は、陳情で東京都にあげるしかないということか？
- このまま住民の意見を言う機会がなく構造形式が発表され、決まってしまうのはおかしい。
- 協議会の目的はわかるが、沿線住民の生活への影響を踏まえた望ましい整備の方向を関係機関に示していくべきである。
- 補助 154 号線は、甲州街道への右折機能の確保、小学校付近の環境保全のための地下化ルートへの変更など、特に、地下を有効活用することを積極的に進めるべきである。
- 土地収用を極力減らし、住民の高齢化に伴う移転の負担を減らすなど、京王線の立体化の早期事業化のためにも地下化が望ましい。
- 事業の条件については、放射 23 号線は都、補助 154 号線は区だが、放射 23 号線が地下化すると連立事業との関連がなくなり、都が整備する路線がなくなり、整備路線が 2 路線ないと都が連立事業から逃げるのではないか？
- 他の駅での住民の考え方は？他の協議会の議事録が入手できるのか？区の指導で連携は取れないか？
- 少数意見、住民の声が東京都などに伝わっているかどうか確認したい。
- 区民と行政の協働による計画づくりについて、さまざまな形で進めるために、区は、積極的に住民への情報提供をしてほしい。
- 明大前の協議会で検討された内容を他の協議会にすべて送ってほしいという案を議決してほしい。



開催あいさつ



質疑応答

## 明大前駅周辺地区街づくり協議会の目的について

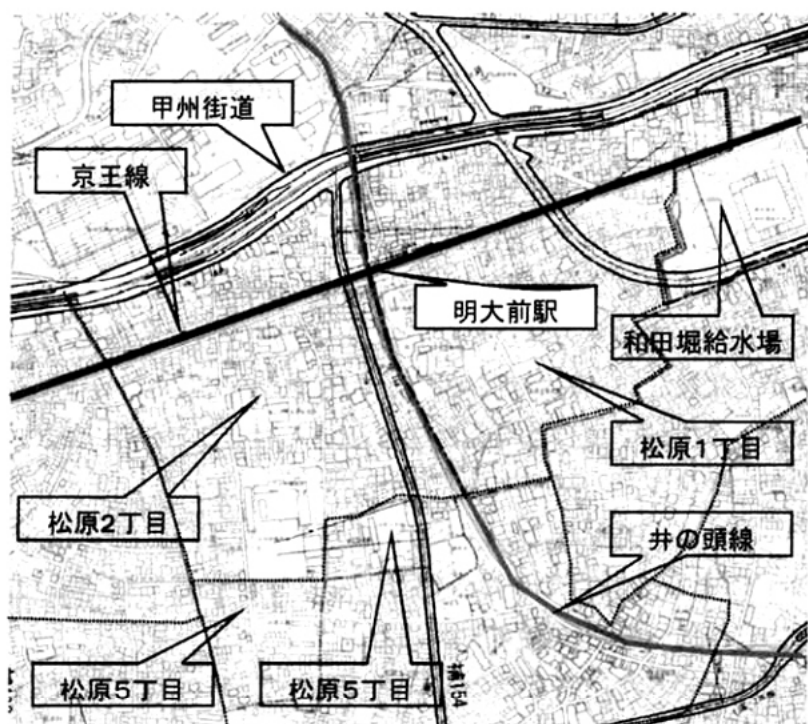
明大前駅周辺地区街づくり協議会も平成20年11月末をもって、設立2周年となりました。会員数は当初の95名から現在では122名に増えております。

多くの方が参加されたことを受け、もう一度街づくり協議会の設立目的について、以下のようにお示しさせていただきます。今後も協議会活動にご協力いただき、望ましいまちづくりの推進に向けた取り組みを行ってまいります。

- 地区街づくり協議会とは、地区の住民や専門家が一緒になって地区街づくり計画の原案の作成・提案を行ったり、街づくりのルール of 適正な運用などについて検討することを目的とする団体です。
- 特に、明大前駅周辺地区を安全で安心して暮らせる街、賑わいを持った街としていくために、区と協力して街づくりを進めることを目的とし、街づくりを進めるために必要な調査、研究を行い、地区の街づくりに関する構想・計画をまとめます。
- 構想・計画をまとめるにあたっては、関係住民の意見を反映するものとし、区が策定する当地区に関する計画・事業に関して必要な意見を述べることができます。

※これらは協議会会則にも示されています。

## 協議会会員募集のお知らせ



街づくり協議会の対象範囲は、下図に示す松原1・2丁目及び松原5丁目18～20番、34～39番、41～43番の区域です。この範囲に土地建物の権利を有している方、お住まいの方或いは事業を営んでいる方が協議会への入会資格を有しております。皆様の協議会活動へのご参加をお待ちしております。

明大前駅周辺地区街づくり協議会  
〒156-0043 世田谷区松原2-45-1  
明大前ピースメーカーズボックス内  
電話：03-3323-8121 FAX：03-3323-6514

平成21年1月発行